

2020 年度第 1 回 中央事例研究会のご案内

会員の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。新型コロナ感染拡大の情勢を鑑みて、本研究会では、今年度予定しておりました中央事例研究会の開催を見送って参りました。この間、常任理事会および総務委員会では、オンラインも含めた開催の在り方について検討を重ねて参りました。まだコロナ禍の収束の目途はついておりませんが、本研究会では学びの場の確保と事例の情報保護の面との双方を考慮し、対面型での開催を行うことにいたします。少人数での開催となりますが、ぜひ参加をご検討くださいませ。

記

日時 : 2021 年 1 月 23 日 (土) 14:15~16:15
会場 : 林野会館 6 階 603 会議室 (最寄り駅 地下鉄丸の内線「茗荷谷」)
定員 : 20 名 (会員限定・お申込み先着順)
発表者 : 衛藤あすか先生 (乳幼児子育て研究所)
テーマ : 「HSC (Highly Sensitive Child) の特性」と「認知処理の偏り」の関連について
~HSC が疑われる小学 2 年女子へのアセスメント~

概要：対象児は小学 2 年生女子、幼児の頃から登園しぶり登校しぶりが続いている。日常生活の様子から HSC (Highly Sensitive Child) である可能性が考えられた。KABC-II、WISC-IV を実施した結果、全般的な知的水準は高く、言語能力も非常に強かったが、その一方で、流動性推理の低さや視覚認知に気になる点があった。そこで、「HSC の気質」と「認知の偏り」の関連性についても考察している。登校しぶりの背景には「HSC の気質」が大きく影響していると考えられたため、対象児の母には、対象児の不安や情動の変化に丁寧に寄り添い、学校に対して対象児の気質に配慮してもらうように協力を求めることをアドバイスした。「認知の偏り」については、抽象的な学習内容が増えるに従い、困難さが表れることも考えられるので、得意な言語能力や具体的な視覚情報を用いて学習をサポートするよう助言した。

申し込み方法：事務局までメールにてご連絡ください。(E-mail : honbu-jimu@k-abc.jp)

件名は「1 月中央事例研」とし、本文中に①お名前②ご住所③ご連絡先 を記してください。

中央事例研究会の案内はメール配信のみとなります。学校心理士資格更新 B 1 のポイントとなるよう申請中です。また本研究会の聴講証明書を発行致しますので、当日お申し出下さい。

※新型コロナの感染予防として、参加される先生方にはマスク着用の上、入室時に検温、手指の消毒をお願いいたします。詳細は、参加者確定後にご案内を差し上げます。また、今後の感染拡大の状況によっては、参加される皆様の安全を第一と考え、再度開催を延期する可能性もありますことをご了承くださいませ。